

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公表番号】特表2004-536906(P2004-536906A)

【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2003-503321(P2003-503321)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 K 3/00

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/34

【F I】

C 0 9 K 3/00 1 1 1 B

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/00 S

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/34

【手続補正書】

【提出日】平成16年1月16日(2004.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

約1～約60重量%の水と、約1～約60重量%のHFC-245faと、約98～約10重量%の1,1,1,2-テトラフルオロエタンとから本質的になる共沸性組成物であって、14.57psiaにおける沸点が-25.80±4である共沸性組成物。

【請求項2】

約1～約30重量%の水と、約1～約30重量%のHFC-245faと、約98～約40重量%の1,1,1,2-テトラフルオロエタンとから本質的になる、請求項1に記載の共沸性組成物。

【請求項3】

約1～約10重量%の水と、約1～約10重量%のHFC-245faと、約98～約70重量%の1,1,1,2-テトラフルオロエタンとから本質的になる、請求項1に記載の共沸性組成物。

【請求項4】

請求項1に記載の共沸性組成物を含んでなる発泡剤組成物。

【請求項5】

請求項1に記載の組成物を含んでなる揮発性発泡剤の存在下で、反応してポリウレタンフォームおよびポリイソシアヌレートフォームを生成する成分を混合したものを、反応および発泡させることを含む、ポリウレタンフォームおよびポリイソシアヌレートフォームの製造方法。

【請求項6】

請求項 1 に記載の共沸性組成物を含んでなる発泡剤の存在下で、ポリイソシアネートまたはポリイソシアヌレートを発泡させることによって調製された独立気泡のフォーム組成物。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の共沸性組成物を含んでなる発泡剤とポリオールとのプレミックス。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の組成物を含んでなる噴射剤とスプレー用材料とを含んでなる、スプレー可能な組成物。

【請求項 9】

前記スプレー可能な組成物がエーロゾルである、請求項 8 に記載のスプレー可能な組成物。

【請求項 10】

前記スプレー可能な組成物が化粧品材料である、請求項 9 に記載のスプレー可能な組成物。

【請求項 11】

前記スプレー用材料が医薬材料である、請求項 9 に記載のスプレー可能な組成物。

【請求項 12】

1,1,1,2-テトラフルオロエタンとHFC-245faと水との混合物を蒸留して、共沸となる濃度を超えて存在している1,1,1,2-テトラフルオロエタンから、1,1,1,2-テトラフルオロエタンとHFC-245faと水とから本質的になる共沸組成物または共沸性組成物を分離する工程を含む、1,1,1,2-テトラフルオロエタンから水を除去する方法。

【請求項 13】

請求項 4 に記載の発泡剤から調製される気泡内ガスを含む独立気泡のフォーム。